

新 国民健康保険の県単位化

H30:125,850百万円 (H29: — 百万円)

国民健康保険(国保)の制度は、平成30年4月から「各市町村ごとの運営」から「県域での運営」に変わります。

国民皆保険制度を支える国保の構造的課題

- 「年齢構成が高く医療費水準が高い」
- 「所得水準が低く保険料負担が重い」
- 「小規模な運営主体(市町村)が多く財政が不安定になりやすい」

高齢化がすすみ
課題が深刻化

加入者の皆さんにとっては…

医療費の単価(診療報酬)は全国共通の制度なのに、国保の保険料負担は市町村ごとに異なっています。

こうした課題に対応するため

- 平成30年4月から、県も市町村とともに国保の運営に加わり、国保の財政運営を市町村単位から県単位に拡大します。これにより、予期せぬ医療費増等の財政リスクの軽減など、**国保運営の安定化**につなげます。
- 「**同じ所得・世帯構成であれば、県内のどこに住んでも保険料が同じ**」(平成36年度予定)になることを目指し、**加入者の負担の公平化**につなげます。
- 医療費は毎年増加の傾向ですが、今回の国保制度の改正によって保険料負担が一定程度増加する加入者については、一度に過度な負担増とならない仕組みを設けます。
- 必要な医療サービスを安心して受けていただけるよう、県、市町村、関係機関が連携して、引き続き、**医療提供体制の整備や医療費の適正化**に取り組んでいきます。

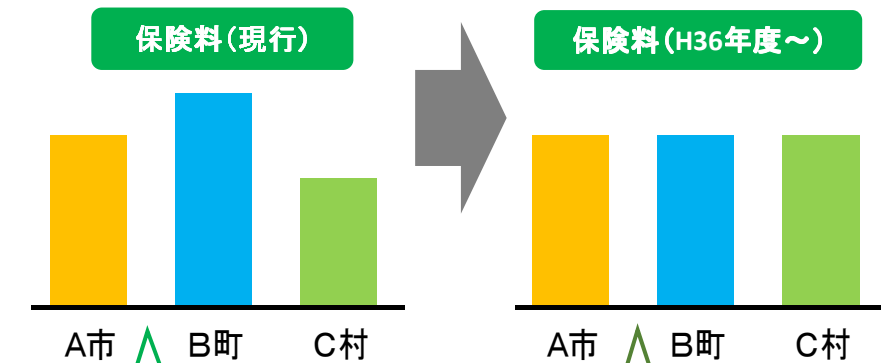
【主な県と市町村の役割】

県	○市町村とともに保険者となり、国保財政運営の責任主体となる。 ○国保の運営方針を定め、市町村の事務の効率化・広域化等を推進する。
市町村	○地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等地域におけるきめ細かい事業を引き続き行う。

※窓口は、平成30年4月以降も引き続きお住まいの市町村です。

加入者の皆さんにとっては…

将来的に急激な保険料上昇が起きにくくなり、安心につながります。



同じ所得・世帯構成でも、市町村間で加入者の保険料には、差があります。

同じ所得・世帯構成であれば、加入者の保険料に差はなくなり、公平となります。



<奈良県国民健康保険事業費特別会計>

【歳入】

・国保事業費納付金	36,831百万円
・国庫支出金	35,999百万円
・前期高齢者交付金	44,160百万円
・その他	8,860百万円

計 125,850百万円

【歳出】

・保険給付費等交付金	99,745百万円
・後期高齢者支援金等	18,155百万円
・介護納付金	7,194百万円
・その他	756百万円

計 125,850百万円

<問い合わせ先>

健康福祉部 保険指導課
辰巳主幹(内線2922)

健康寿命日本一を目指した 健康づくりの推進

■健康的な生活習慣の普及

○食育の推進[9]

親子減塩教室の開催、まほろば元気100菜プロジェクト、⑦学校や病院等において新鮮な県産食材による「美味しい食事」の提供等

○健康ステーションの取組拡大[24]

県営健康ステーション（王寺、樫原）の運営、市町村営健康ステーションの設置支援

○スマートフォンを活用した健康づくり・生活支援サービスの提供[10]

○⑧医農連携の取組の推進[4]

農作業を通じた健康づくりや介護予防に取り組む市町村等への支援

■疾病の早期発見による早世の減少

○がん検診の推進[6]

がん予防推進員の養成拡大、がん検診精度向上のための従事者研修等

○がん対策の推進[91]

⑨がん診療情報を病院別・がん種別等で比較分析し県民にわかりやすい公表方法を検討、がん患者への支援、がん診療連携拠点病院等の機能強化等

○自殺対策の強化[43]

自殺対策に取り組む市町村等への支援等



「がん検診を受けよう！」奈良県民会議（講演会）



王寺健康ステーション



県民健康づくりイベント

だれもが、いつでも、どこでも、 スポーツに親しめる環境づくり

■スポーツイベントの充実

○マラソンイベント[74]

リレーマラソン（11月）、奈良マラソン（12月）

○トップアスリートを活用したスポーツイベント[4]

トップアスリートとの交流イベントやスポーツ教室の開催

○南部地域でのスポーツイベント[6]

アウトドアチャレンジレース（カヌー、ヒルクライムマラソン）（5月）、K o b o T r a i l 2018（5月）、五條市上野公園総合体育館に中学生向け選抜柔道大会を誘致

○サイクルスポーツイベント[8]

山岳グランfond in 吉野（7月）、ヒルクライム大台ヶ原 since 2001（9月）、ツアー・オブ・奈良・まほろば（9月）

■スポーツを楽しめる環境整備

○総合型地域スポーツクラブの活動支援[4]

クラブ交流大会の開催、クラブアドバイザーによる巡回指導等

○幼児運動プログラムの普及[4]

幼少期の正しい運動・生活習慣の定着を図るためのセミナー開催等

○⑩スポーツ施設のあり方検討[10]

国体等を想定した県全域の中長期的なスポーツ施設整備ビジョン策定

○⑪まほろば健康パークの機能強化検討[2]

○自転車ルート整備[422]

京都・奈良・和歌山を結ぶ京奈和自転車道及び農村周遊自転車ルートの整備

■あこがれ・感動を生むスポーツの推進

○ラグビーワールドカップ・東京五輪キャンプ地招致に向けた取組[9]

各国の競技団体へのプロモーション活動等

○⑫東京オリンピック・パラリンピックに向けた奈良県PR[4]

聖火リレーでの効果的なPRの検討、フラッグツアーにあわせたPRイベントの開催

○パラリンピックタレント発掘[3]

アスリート発掘・育成イベントの開催

○⑬2018国際ゴールドマスターズ奈良大会の開催（10月）[1]

○ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備[10]



奈良マラソン2017



総合型地域スポーツクラブ交流大会
「バトンをつなげ！400mリレーフェスティバル」

県民が健やかに安心して暮らせる 地域医療・介護・福祉の総合的な取組の推進

■「健康福祉部」と「医療政策部」を「福祉医療部」に再編し、部内に「医療・介護保険局」「医療政策局」「こども・女性局」を設置

■地域医療の確保・充実

〈高度医療の充実〉

- 新奈良県総合医療センターの平成30年5月開院に向けた準備[4,408]
医療機器整備、移転経費等

〈地域医療提供体制の構築〉

- 医療機関の機能分化と連携推進[232]
病床規模適正化の取組への支援、地域包括ケア病床の整備支援、患者の受療や疾病の動向等調査・分析、⑧急性期機能の集約化など病院機能の強化支援等
- ⑧医療の「見える化」推進[23]
「断らない病院」「面倒見のいい病院」としての機能を指標化して機能の発揮・連携の強化を推進
がん診療情報を病院別・がん種別等で比較分析し県民にわかりやすい公表方法を検討
- 奈良県医療安全推進センターの運営支援[15]
幅広い医療事故情報を収集・分析・研究し、その情報を県内医療機関と共有
- 南奈良総合医療センターの運営支援[450]

〈医師・看護師の確保〉

- 医師確保修学資金貸付金、看護師等修学資金貸付金[302]

■地域包括ケアの構築

〈医療・介護のまちづくりプロジェクトの推進〉

- 医大・周辺まちづくり[692]
教育・研究部門の移転にかかる施設整備基本計画、用地買収、土壌汚染対策等
周辺まちづくりにかかる土地利用及び近鉄橿原線新駅検討等
- 奈良県総合医療センター跡地（奈良市平松町）活用まちづくり[49]
事業構想検討支援、土壌汚染調査等

〈地域包括ケアシステムの構築・深化〉

- 市町村における地域包括ケアシステムの構築[4]
⑧市町村の地域ケア会議に助言者として参加する薬剤師等専門職の人材育成支援、
地域包括支援センター職員研修の開催等
- ⑧介護予防・日常生活支援の充実[3]
市町村職員の地域マネジメント力向上に向けた研修会・ワークショップの開催、
介護予防や生活支援の充実に資する住民運営の通いの場の普及・拡大支援
- 認知症施策の推進[31]
⑧認知症初期集中支援チーム員等フォローアップ研修、若年性認知症サポートセンター運営等
- 地域医療・介護連携ICTの導入推進[81]
医療機関と介護事業所等が情報共有を効率的に行うICTシステムの構築支援

■福祉の充実

〈長寿・福祉人材の確保〉

- 人材の確保・育成[124]
⑧在宅での介護・療養生活に不可欠な訪問看護ステーションをはじめとした介護現場等の
人材の確保と育成を支援等
- 人材育成体制や就労環境等の整った福祉・介護事業所の認証[22]
⑧認証取得を目指す小規模事業所を対象に制度構築や計画策定等を支援

〈障害者支援の充実〉

- 登美学園・筒井寮の建替整備[268]
平成32年春 居住棟完成 平成34年度末 全面開所
- 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例の推進[13]
相談員の配置、条例の普及啓発等
- 発達障害者支援の充実[53]
⑧地域支援ネットワークの構築、発達障害者支援センターの運営等
- 企業や社会福祉法人等との連携による就労支援の充実[73]
「障害者はたらく応援団なら」の運営、県内企業による特例子会社設立支援、授産商品等の
共同販売会の開催、⑧農福連携マルシェの開催等
- 精神科救急医療システムの運営[42]

〈高齢者支援の充実〉

- 高齢者の生きがいづくりの推進[31]
ならシニア元気フェスタの開催、高齢者の生きがいや就労の場の創出支援等

〈生活困窮者等支援の充実〉

- 経済的困難及び社会生活上の困難を抱える子どもたちへの支援充実[24]
⑧高校生の中退防止に向けた学習支援・進路相談
奈良らしい「こども食堂」の推進等
- 自立に向けた就労支援の強化[80]
⑧各市自立相談支援機関との連携協定による
広域就労準備支援等



県立登美学園 完成イメージ（南西方向から）

〈医療保険制度の円滑な運用〉

- 国民健康保険の県単位化に伴い、新たに国民健康保険事業費特別会計を設置
⑧（仮称）国保事務支援センターの設置



新奈良県総合医療センター（平成30年5月開院）



奈良県立医科大学新キャンパス（イメージ）

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。

新 未就学児の医療費助成における現物給付方式の導入

H30: 48百万円
(H29: ー百万円)

未就学児の医療費助成について、平成31年8月からの現物給付方式導入に向け、市町村とともに取組を進めていきます。県では、市町村等が実施する福祉医療システムの改修に必要な経費を補助するとともに、市町村とともに制度導入に向けた準備を行います。

○導入時期：平成31年8月診療分から

○対象者：未就学児である受給者（子ども医療費助成、心身障害者医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成）

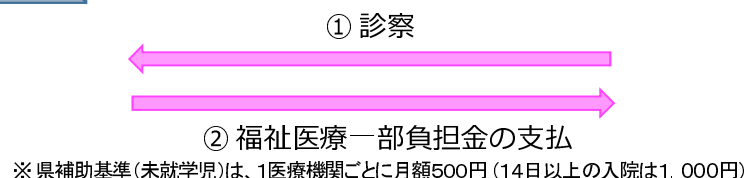
【福祉医療費の現物給付方式とは・・・】

保険医療機関等で健康保険証と福祉医療の受給資格証を提示することにより、窓口で福祉医療一部負担金の支払いのみで受診できる制度です。

※ 現在は、一旦窓口で医療保険の自己負担部分（未就学児の場合は、医療費の2割）を支払い、後日登録している口座に医療保険の自己負担部分から福祉医療一部負担金を控除した額が振り込まれる制度【自動償還方式】

現物給付方式のしくみ

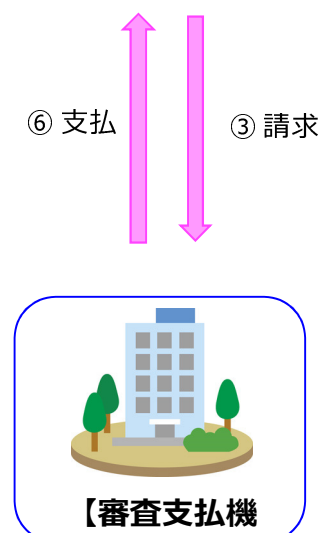
※ 医療保険の自己負担部分（医療費の2割）の支払いの流れ



現物給付方式の導入に伴う変更点

○平成31年7月診療分まで（自動償還方式）
⇒ 受給者は、医療機関窓口で自己負担部分（医療費の2割）を支払い、後日市町村から福祉医療一部負担金を控除した額を受給者の口座に振り込み

○平成31年8月診療分から（現物給付方式）
⇒ 受給者は、医療機関窓口で福祉医療一部負担金のみを支払い



現物給付方式の導入範囲

助成制度	医療費助成対象者 (県補助基準)	現物給付方式 の導入範囲
子ども 医療費助成	0歳～中学生	左記対象者 のうち未就学児
心身障害者 医療費助成	身体障害者手帳1・2級 又は 療育手帳A1・A2所持者	
ひとり親家庭等 医療費助成	ひとり親家庭の親等と18歳に達する日以後の 最初の3月31日までの間にある児童	

※医療費助成の対象者は市町村により
異なります。
※県外医療機関での受診、資格証の提示
のない場合は従来通り通常償還。
(市町村に申請して助成を受ける。)

<福祉医療システム改修補助事業（H30：48百万円）>

市町村及び奈良県国民健康保険団体連合会の運営する福祉医療システム改修経費への支援

〈問い合わせ先〉
健康福祉部 保険指導課
通山参事（内線2921）

新 病児保育施設の充実

H30: 33百万円
(H29: ー百万円)

子育て世代が、安心して働きながら子育てができるよう、病気の子ども等を一時的に保育するための病児保育施設の整備等を促進することにより、県内の病児保育施設の充実に図り、「子どもを生み育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県づくり」の実現を目指します。

病児保育施設の整備に対する支援

<市町村等が実施する病児保育施設の整備等に対する支援>

【H30：33百万円】

[H30整備等予定市町村]

奈良市・・・新 設（1箇所）
香芝市・・・新 設（1箇所）
設備整備（1箇所）



【参考】 ～ 県内の病児保育の実施状況 ～

類 型	内 容	H30実施予定箇所数 (H29実施箇所数)
病児対応型	病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育	5市7箇所 (5市6箇所)
病後児対応型	病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間にある児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育	8市町10箇所 (8市町 9箇所)
体調不良児対応型	保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった児童について、一時的に預かるほか、保育所等に通所する児童に対して保健的な対応等を実施	8市町24箇所 (8市町23箇所)



〈問い合わせ先〉
こども・女性局 子育て支援課
森田課長補佐（内線2885）